

事業報告書

第7期

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

静岡県御殿場市中畑1691番地の14

令和元年度事業報告

1. 事業の実施に係る事項

1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》植生保護柵の点検、周辺部の食害調査

《目的》国有林に設置した植生保護柵の点検、修復、植生復元状況調査など

《実施日》4/29・5/7・5/9・11/15

《内容》破損等の点検、ステーの交換、倒木除去

周辺地域の食害状況の目視調査、写真撮影による記録

次年度の柵修復のための現地調査・静岡森林管理署と協働

《事業》センサーカメラによる動物調査

《目的》動物の生息調査およびニホンジカの活動を通年調査

《実施日》4/29・5/7・10/20

《内容》センサーカメラ点検・電池/メモリ交換・回収・設置

《事業》樹皮防護ネット設置

《目的》ニホンジカの食害対策として、母樹となる樹木の立ち枯れを防ぐ

《実施日》8/3

《内容》須山口周辺の国有林でナツツバキなどに設置 御殿場小山ボーイスカウトと協働 (28名)

《事業》植生保護柵の植生調査

《目的》植生防護柵の効果を検証

《実施日》9/2・10/7

《内容》南山林道に設置した植生保護柵の毎木調査、植生調査 常葉大学と協働 (10名)

旧須山口周辺に設置した植生保護柵内外の実生調査 (6名)

《事業》蜘蛛の生息調査

《目的》植生防護柵の効果を検証

《実施日》9/14

《内容》調査者・日本クモ学会・久保田克哉氏 (他2名)

旧須山口周辺に設置した植生保護柵内外の蜘蛛の生息状況を調査

《事業》国有林東白塚低山帯植物群落保護林への植生保護柵設置

《目的》森林の植生を保護

《実施日・内容》

4/19 設置位置の確認

10/16 資材運搬ルートおよび運搬方法の確認 ナラ枯れ調査 (2名)

11/4 静岡森林管理署、常葉大学生、ボーイスカウトと協働で設置 (26名)

2) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》 土壌水分量調査

《目的》 植生とニホンジカによる食害の影響について林床の状態を探る

《実施日》 5/9

《内容》 御殿場市区域の国有林の土壌採取と分析

《事業》 国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画
NPO法人富士山クラブと協働で実施

《目的》 人工林を天然林に復元するための実験

《実施日》 10/16・11/1

《内容》 現地状況確認・コドラートによる植生調査(第2回)
調査報告「ウラジロモミ人工林の混交林化計画 2019」を作成

3) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》 環境教育フィールドの整備

《目的》 水ヶ塚～東白塚遊歩道の再開

《実施日》 4/19・5/19

《内容》 旧遊歩道のルート調査・ルート測量を実施 (裾野市 静岡森林管理署と協働)

《事業》 パネル展示

《目的》 森林保全活動の重要性と意義の啓発

《実施日》 6/1(ecoまつり) 6/14～(玉穂ふれあい文化展) 8/20～(ふらっと展・ふじざくら)
10/27(元気わくわくごてんばフェスタ2017)

《内容》 「御殿場口の自然環境と課題」をテーマのパネルを展示

《事業》 イベント「親子で学ぼう! 富士山の自然」

《目的》 富士山の自然環境についての啓発

《実施日》 7/7

《内容》 御殿場市民活動支援センター主催のイベントを全面担当
スライド解説、パネル展示、クイズ、クラフトづくりを実施 (50名以上)

《事業》 常葉大学森林学習 1)と同時に実施

《目的》 森林についての理解を深める

《実施日》 9/2

《内容》 常葉大学生を対象に森林学習を実施 (10名)

4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》 御殿場口雪代堆積地の生物多様性保全
《目的》 御殿場口の自然環境保全・帰化植物・侵入植物の駆除
《実施日》 4/28 8/29
《内容》 外来種 of ヒメスイバを中心に侵入種駆除を実施 (17名)

《事業》 講演会
《目的》 演題「富士山・自然環境と現状」
《実施日》 5/18 (於：玉穂報徳会館)
《内容》 玉穂婦人会の勉強会として講師を担当 (横山 勝又)

《事業》 講演会
《目的》 演題「国有林の現状」
《実施日》 6/2 (於：御殿場市民交流センターふじざくら)
《内容》 講師・静岡森林管理署 山本義久氏

《事業》 富士山国有林の環境調査
《目的》 森林の変化を比較
《実施日》 5/21
《内容》 二合目林道沿いの国有林で11年前の調査ルートを辿り同様の調査を実施 (8名)

《事業》 冊子発行
《内容》 富士山自然保護活動の概要平成30年版(5月)
富士山学習シリーズ(1) 須走口標高2,000mの草原と森林(7月)
富士山御殿場口の自然環境と課題 2020年改訂版(2月)

※ 活動の中で作成した冊子・報告書はホームページで公開している。

2. 総括

冊子の発行、新聞報道、ホームページ、パネル展示、講演などを通じて富士山の自然環境についての理解が深まり、とくに深刻な状況にある御殿場口の侵入植物についての認識を広げることができた。

活動記録写真と作成物



2019年4月19日 水ヶ塚遊歩道再開のための調査



2019年4月29日 動物調査センサーカメラの回収と野鳥調査



2019年5月7日 須走口の動物調査センサーカメラデータ回収と植生保護柵の点検



2019年5月9日 御殿場市区域の柵の点検と調査、動物調査センサーカメラデータ回収 土壌採取と分析



2019年6月2日 総会・講演会「国有林の現状」(講師・静岡森林管理署山本義久氏)を開催



6/1(ecoまつり) 6/14～(玉穂ふれあい文化展) 8/20～(ふらっと展・ふじざくら)
10/27(元気わくわくごてんばフェスタ2017)



2019年4月28日 8月29日 御殿場口植生調査 外来植物・侵入植物駆除



2019年8月31日 11年前の調査ルートを通り同様の調査を実施



2019年9月2日 植生保護柵の毎木調査と植生調査(協働 常葉大学)



2019年9月14日 植生保護柵の効果を確かめるための蜘蛛調査



2019年10月7日 須山口植生保護柵の効果を確かめるための実生調査



019年10月16日 ウラジロモミ人工林の混交林化実験・第2回植生調査 11月1日 全天写真撮影



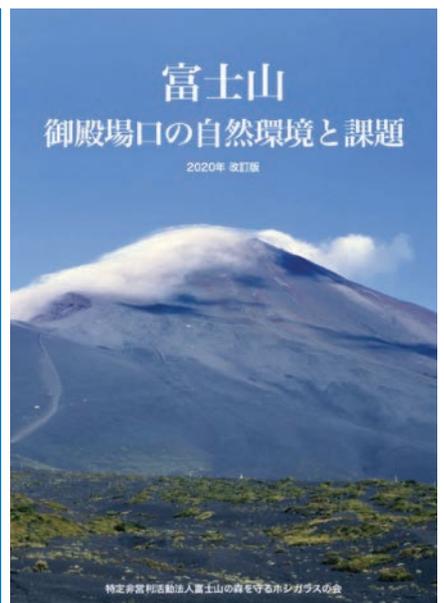
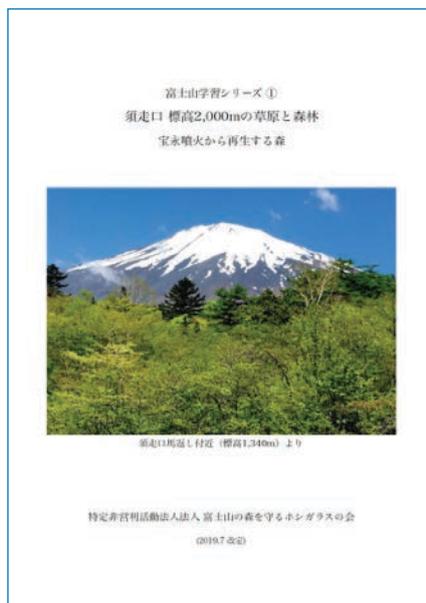
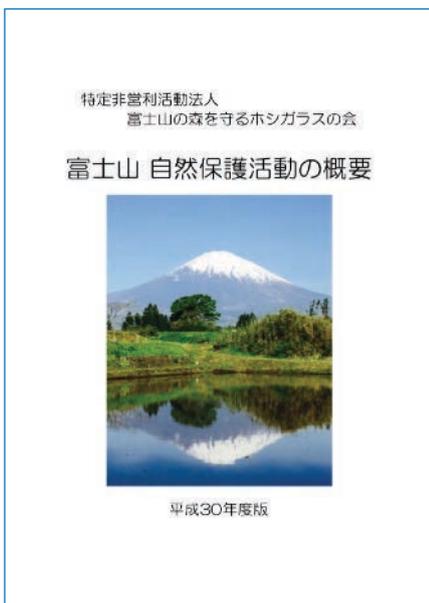
2019年10月16日 東白塚保護林への植生保護柵資材運搬ルート確認作業・ナラ枯れ調査



2019年10月20日 須走口の植生保護柵点検と動物調査センサーカメラ回収



2019年11月4日 東白塚保護林に植生保護柵設置(協働常葉大学・ボーイスカウト)



富士山自然保護活動の概要平成30年版(5月)

富士山学習シリーズ(1) 須走口標高2,000mの草原と森林(7月)

富士山御殿場口の自然環境と課題 2020年改訂版(2月)

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14
TEL 0550-89-6905 FAX0550-73-0434
ホームページ <http://hosigarasu.org>
Eメール info@hosigarasu.org

決 算 報 告 書

第 7 期

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

NPO法人富士山の森を守るホシガラスの会

静岡県御殿場市中畑1691番地の14

貸借対照表

NPO法人富士山の森を守るホシガラスの会

[税込] (単位:円)
平成32年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金 15,381

普通預金 136,525

現金・預金計 151,906

流動資産合計 151,906

資産合計 151,906

《負債の部》

【流動負債】

流動負債合計 0

負債合計 0

《正味財産の部》

前期繰越正味財産 450,497

当期正味財産増減額 △298,591

正味財産合計 151,906

負債及び正味財産合計 151,906

財 産 目 録

NPO法人富士山の森を守るホシガラスの会

[税込] (単位：円)
平成32年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	15,381	
普通 預金	136,525	
静岡銀行御殿場支店無利息口座	(1,000)	
ジャパンネット銀行	(8,386)	
静岡銀行御殿場支店基金口座	(479)	
静岡銀行御殿場支店	<u>126,660</u>	
現金・預金 計	<u>151,906</u>	
流動資産合計		<u>151,906</u>
資産合計		151,906

《負債の部》

【流動負債】

流動負債合計	<u>0</u>	
負債合計		<u>0</u>
正味財産		<u>151,906</u>

活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

NPO法人富士山の森を守るホシガラスの会

自 平成31年 4月 1日 至 平成32年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 193,000

【受取寄付金】

受取寄付金 372,000

【受取助成金等】

受取補助金 100,000

【その他収益】

受取 利息 3

雑 収 益 133,000 133,003

経常収益 計 798,003

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

諸 謝 金 60,000

印刷製本費(事業) 311,766

旅費交通費(事業) 59,490

通信運搬費(事業) 9,391

消耗品 費(事業) 268,708

賃 借 料(事業) 360,500

保 険 料(事業) 14,800

その他経費計 1,084,655

事業費 計 1,084,655

【管理費】

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

旅費交通費 3,320

通信運搬費 3,399

消耗品 費 798

支払手数料 4,422

その他経費計 11,939

管理費 計 11,939

経常費用 計 1,096,594

当期経常増減額 △298,591

【経常外収益】

経常外収益 計 0

【経常外費用】

経常外費用 計 0

税引前当期正味財産増減額 △298,591

当期正味財産増減額 △298,591

前期繰越正味財産額 450,497

次期繰越正味財産額 151,906

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

NPO法人富士山の森を守るホシガラスの会

[税込] (単位:円)

自 平成31年 4月 1日 至 平成32年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	193,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	372,000	
【受取助成金等】		
受取補助金	100,000	
【その他収益】		
受取 利息	3	
雑 収 益	133,000	
経常収益 計		798,003
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
諸 謝 金	60,000	
印刷製本費(事業)	311,766	
旅費交通費(事業)	59,490	
通信運搬費(事業)	9,391	
消耗品 費(事業)	268,708	
賃 借 料(事業)	360,500	
保 險 料(事業)	14,800	
その他経費計	1,084,655	
事業費 計		1,084,655
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
旅費交通費	3,320	
通信運搬費	3,399	
消耗品 費	798	
支払手数料	4,422	
その他経費計	11,939	
管理費 計		11,939
経常費用 計		1,096,594
当期経常増減額		△298,591
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△298,591
当期正味財産増減額		△298,591
前期繰越正味財産額		450,497
次期繰越正味財産額		151,906

財務諸表の注記

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

令和2年3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。

【会計方針の変更】

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位:円)

科目	全事業所	合計
(人件費)		
人件費計	0	0
(その他経費)		
諸謝金	60,000	60,000
印刷製本費(事業)	311,766	311,766
旅費交通費(事業)	59,490	59,490
通信運搬費(事業)	9,391	9,391
消耗品費(事業)	268,708	268,708
賃借料(事業)	360,500	360,500
保険料(事業)	14,800	14,800
その他経費計	1,084,655	1,084,655
合計	1,084,655	1,084,655

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】 該当なし

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】 該当なし

【使途等が制約された寄付等の内訳】 該当なし

【固定資産の増減内訳】 該当なし

【借入金が増減の内訳】 該当なし

【役員及びその近親者との取引の内容】 該当なし

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】 該当なし